



公益財団法人横浜 YWCA 2015 年度 事業報告

公益財団法人 横浜 YWCA

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 225

Tel: 045-681-2903 Fax: 045-662-0926

Mail: office-yokohama@ywca.or.jp

<http://yokohama-ywca.jp/>

2015 年度を振り返って

2015 年度は、収益事業の不振への対応に迫られる一年であった。3 年越しで進めてきた会館の耐震改修工事は、7 月に横浜市の基準を満たした認定を受け、不特定多数が出入りする会館を運営する法人としての一定の責任は果たせた。しかし、工事の騒音に対処するために工法の変更が必要になり、工事費用が当初の見積もり金額よりも増加したことは大きな痛手であった。収益事業の柱である貸室収入は、閉館期間が予定よりも長くなったため、減収を見込んだ予算よりさらに下回った。さらに定期利用団体が撤退後、時間貸しに使っていた教室をテナント仕様に変更し、有料広告などで募集したが入居まで半年以上費やした。テナント募集への反応は今までになく少なかった。現在の会館になってから収益の中心は貸室であったが、近隣に多数あるテナントビルとの競争を考えると、貸室以外の収入を確保することが急務である。

公益事業に関しては、精神障害を抱える女性の就労支援の場である「花が楽しめる花花カフェ」（*2016 年度から名称変更予定）で受け入れていた横浜市障害福祉課職場実習事業の実習生が大幅に減少したことが大きな変化である。横浜市の方針が、比較的短期間に就労に結びつく実習生を支援する方向になるなかで、横浜 YWCA としては、行政の実習事業の対象からは外れるが、生きづらさを感じながらも就労や社会参加の場を求めている女性を孤立させない目的を再確認した。そのために、職場実習協力事業所にとどまらず、横浜市生活支援課生活困窮者支援の認定就労訓練事業所としての登録を済ませ、よこはま若者サポートステーションよりジョブトレーニング、横浜市青少年育成センター等より実習生を受け入れる予定である。民間との連携では、NPO 法人ブリッジフォースマイ

ルを介し、児童養護施設で暮らす子どもたちの職場体験を実施した。

暴力を受けた女性支援の新しい取り組みとして、ひきこもりや生きづらさを感じる娘を持つ母のためのカウンセリングを開始した。生きづらさを感じる女性たちは、配偶者からの身体的・精神的・経済的暴力を経験したり、自分に自信が持てず対人関係に苦手意識を抱いている女性も多い。暴力を受けた女性の支援は、離婚に関連する講座や法律相談が中心ではあるが、離婚相談でも就労支援でも相談窓口の枠にとらわれず、共通の痛みや背景を理解し、適切な支援につなげていきたい。このように積み重ねてきた経験や知識を基盤に安定した収入を得るため、横浜市の一般競争入札有資格を取得した。研修業務、イベント企画運営、各種調査企画などの委託業務に挑戦していく。

敗戦後、憲法 9 条を守ることを使命としてきた日本全国の YWCA にとって、集団的自衛権を認め、他国の戦争に加担できるようになった 2015 年 9 月 19 日は忘れられない日となった。時の政府にとって都合のよい憲法解釈がまかり通る時代になったが、YWCA は戦争の道は歩まないという強い決意を広く社会に示していく。また、市民の平和への思いの発信の場として、2 月に正式にオープンした YWCA ギャラリー・レーシーを活用し、さまざまな形で非暴力を訴え、人権や平和の尊さを伝えていく計画である。

2016 年 5 月

代表理事 清水（常山）祐子

I. 公益目的事業

1. 精神障害女性就労支援

精神的な辛さを抱える女性の就労支援を目的として活動する「花花カフェ」は、8年目を迎えた。今年度は横浜市の職場実習事業の他、児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちの自立支援をしている認定NPO法人ブリッジフォースマイルから、計3名の学生インターンを夏と冬に受け入れた。

横浜市職場実習事業による実習生は1名が卒業、その後は更なるステップアップに向けて就労支援事業所等に通所をしている。また、実習体験生を4名受け入れた。実習修了生が横浜YWCA会館を訪ねてくることも多々あり、就労支援の場としてだけでなく、就職後の居場所としても利用されている。

運営チームではこの1年、様々な若者支援の場へ出向き、お話を伺った。女性が安心して通うことのできる、実習生も女性だけ、運営する側も女性だけという就労支援の場の必要性を感じた。それを受け、これからのカフェの方針やコンセプトの見直し、方向性の再確認を行った。

(1) 職場実習

- 実習：実習生1名（うち終了1名）、体験4名、インターン4名
- 実習日数：のべ234日（1日6時間）
- 喫茶利用者：のべ3,369名（うちランチ506名、ケーキセット270名）

2. 暴力を受けた女性支援「ゆう」

「ゆう」では、一人ひとりの女性がその人らしく、安心・安全・健康に生きていけるようにと願い、活動している。支援事業をはじめ6年がたち、活動の幅が広がっている。

弁護士による、毎月開催の離婚講座（後援：法テラス神奈川）は、離婚の法的な基礎知識、気が付きにくいドメスティック・バイオレンスやモラルハラスメントとは何か、その対処法について分かりやすく解説している。講座受講者を対象とした、講師による弁護士相談もセットで開催し、相談者が増加している。これまでの相談実績が評価され、2014年4月から法テラス指定相談場所として認定を受けている。

相談事業は、心に抱える問題などを相談するカウンセリングと、生活や福祉やまた様々な相談窓口である女性相談を行っている。離婚講座を受けた後、カウンセリングや女性相談を申し込むケースが増えており、「ゆう」の活動が相互にうまくリンクしている。

2012年度より実施してきた「暴力を受けた女性のためのサポーター養成講座」は、目的・対象を見直し、今年度は対象を支援者にしぼり単発参加を前提とした「暴力を受けた女性のための支援者向け講座」として秋に実施した。横浜市以外の県内からの参加者も多く、全4回で延べ36名の参加があった。

また大阪YWCAオリジナルのDV被害者サポートの啓発のためのリーフレット「知る 寄り添う DVをなくすために私たちにできること」の横浜YWCA版の作成を行った。

(1) 相談・支援

- 心理カウンセリング（予約制） 相談者：のべ97名
- 女性相談（予約制） 相談者：のべ24名（うち同行支援7名）
- 弁護士相談（法律講座受講者のみ） 相談者：のべ106名 後援：法テラス神奈川

(2) 「女性のための法律講座 よくわかる離婚講座」の開催

全18回 講師（弁護士）：川口彩子、白石美奈子、鈴木野枝、東玲子、宮下真理子

会場：横浜 YWCA 参加者：のべ 238 名

(3) その他講座の開催

① 支援者向け講座

- 第 1 回「サポートの視点について、公的支援について」
日時：2015 年 10 月 31 日（土）
講師：元自治体女性相談員 会場：横浜 YWCA 参加者：9 名
- 第 2 回「外国籍女性の支援」
日時：2015 年 10 月 31 日（土）
講師：新倉久乃（特定非営利活動法人女性の家サーラー理事） 会場：横浜 YWCA
参加者：9 名
- 第 3 回「DV と児童虐待」
日時：2015 年 11 月 12 日（土）
講師：東玲子（横浜弁護士会子どもの権利委員会子どもの福祉部会、特定非営利活動法人子どもセンターてんぼ理事） 会場：横浜 YWCA 参加者：8 名
- 第 4 回「PTSD・二次受傷（代理受傷）」
日時：2015 年 11 月 21 日（土）
講師：木村弓子（横浜 YWCA「ゆう」カウンセラー） 場所：横浜 YWCA
参加者：10 名

② 特別プログラム

- 「心理教育の実際」
日時：2015 年 8 月 22 日（土）14:00～16:00
講師：小西聖子（武蔵野大学教授、精神科医）
会場：横浜 YWCA 参加者：40 名
- ゆう亭・新春落語会「ストレスをためないためにできることは？」
日時：2016 年 1 月 23 日（土）14:00～16:00
出演：柳亭燕路（落語家）、木村弓子（カウンセラー）
会場：横浜 YWCA 参加者：32 名
- 女性限定講座「当事者が語るモラルハラスメント～DV は身体的暴力だけではありません～」
日時：2016 年 2 月 20 日（土）13:30～15:30
講師：熊谷早智子 会場：横浜 YWCA 参加者：45 名

3. 女性の心身の健全な育成と福祉の増進に資する各種講座の提供

声を出すことや身体を動かすことによる健康づくりを目的とした講座、女性の多様な生き方について理解を深めることを目的とした講座、また個人の信仰に関係なく聖書をジェンダーの視点で読みながら自由に意見交換を行う会の開催を行った。

今年度は、「ヨーガ療法」を新たに開始、また「健康気功」と認知症予防を目的とした「脳も鍛える健康講座」は高齢者を中心に多くの参加を得た。

(1) 女性の健康をテーマにした健康講座の開催

① 「のびのびコーラス」

- 講師：関根良子（音楽教員、チェンバロ奏者） 会場：横浜 YWCA
- I 期（4～9 月）計 11 回 在籍者：8 名
 - II 期（10～3 月）計 13 回 在籍者：8 名

② 「フラダンス」

講師：カプア田中フラスタジオ、ティアレ スイ スタジオ 会場：横浜 YWCA

- I期（4～6月）計6回 在籍者：8名
- II期（7～10月）計6回 在籍者：9名
- III期（10～12月）計6回 在籍者：8名
- IV期（1～3月）計6回 在籍者：8名

③ 「健身気功」

講師：本川由美子（全日本健身気功&太極拳練功大会技審判長）
全8回 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ59名

④ 「脳も鍛える健康体操」

講師：真崎祥子（元津田塾大学・お茶の水女子大学体育講師）
全19回 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ154名

⑤ 「ヨーガ療法」

講師：鬼塚チェイス円（日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士）
全18回 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ53名

(2) 女性の多様な生き方について理解を深める講座の開催

① 夏のキャンドルナイト「あるアフリカ人女性の半生～コンゴ人家政婦が日本人女性に語ったお話～」

日時：2015年6月27日（土）

スピーカー：金原雅子さん（日本語教師・日本茶インストラクター）

会場：横浜 YWCA 参加者：18名

② 冬のキャンドルナイト「愛読書の夕べ」

日時：2015年11月14日（土） 場所：横浜 YWCA 参加者数：9名

③ 聖書を冒険する会

全10回 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ33名

(3) 「AIDS 文化フォーラム in 横浜」の実行に組織委員として協力

日時：2015年8月7日（金）～9日（日）

テーマ：今こそ、共に生きる

会場：かながわ県民センター 3日間ののべ参加者：3,701名

4. 人材育成及び地域社会の健全な発展に資する各種プログラムの提供

会館一階をコミュニティ・スペース「わみゅう」という名称で地域に開放しており、この「わみゅう」で月に2回開催している高齢者の集いの場「シニアサロン ティールームよこはま」は、高齢者が地域で孤立することなく健康で自立した生活を送れるようにと、第1・第2木曜日午後13時～15時に開催している。第1木曜のお楽しみプログラムでは、昨年度から実施しているフラワーアレンジメントや、マンドリン鑑賞、クリスマスピアノコンサート、お菓子づくり、日本舞踊&ランチ会、音楽療法、お散歩（旧新橋停車場、あかいくつバス）など、バラエティに富むプログラムを提供した。今年度初の試みとして、「脳も鍛える健康体操」の体験版やサクソフォンやリコーダーアンサンブルのコンサート、歌声喫茶など、様々なプログラムを提供したが、中でも歌声喫茶は大変好

評であった。

(1) 高齢者施設・養護施設・その他の社会福祉施設でのボランティア活動

① 洋裁ボランティア（訓盲院）

全 9 回 場所：社会福祉法人横浜訓盲院 参加者：のべ 34 名

② 朗読ボランティアグループ「ゆりかもめ」

● テープ朗読

全 3 回 場所：横浜 YWCA 参加者：のべ 6 名

● 対面朗読

全 2 回 場所：介護老人保健施設ハートケア横浜 参加者：のべ 4 名

(2) ボランティア活動に資する知識を深めるための講座の開催

① 「僕がゲイの牧師でよかったこと」

日時：2015 年 11 月 14 日（土） 講師：平良愛香さん（日本基督教団三・一教会牧師）
場所：横浜 YMCA 参加者：15 名 共催：横浜 YMCA

(3) コミュニティ・スペースの運営

① 高齢者を対象にした交流の場 「ティールームよこはま」

● 毎月第 1 週木曜日 全 12 回

－フラワーアレンジメント（講師：岩松絹子）

－散歩

－ふれあいサクソフォンコンサート（演奏：遠藤和広）

－リコーダーアンサンブル

－歌声喫茶（講師：関根良子）

－脳も鍛える健康体操（講師：真崎祥子）

－マンドリン鑑賞（演奏：倉田節子他）

－クリスマスコンサート（ピアノ演奏：早川幸子）

－お菓子作り（講師：池端伊都子）

－ランチ会、日本舞踊鑑賞

－音楽療法（音楽療法士：桑島美穂）

会場：横浜 YWCA、旧新橋停車場、横浜みなとみらい周辺 参加者：のべ 166 名

● 毎月第 2 週木曜日 クラフト

全 11 回 講師：若林美代子 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ 85 名

② フェアトレードの紹介及び販売

働きに見合った適正な対価を支払うことで女性の経済的自立を促すフェアトレードへの理解促進のため、以下の地域の事例の紹介とその商品の展示販売を行った。

● ネパールの女性協同組合が製作した衣料品や小物

● パレスチナ自治区において経済的自立を目指すグループの生産物

③ 障害者福祉施設授産製品の販売

知的ハンディのなかまによる手作りの天然素材せっけんの販売を行った。

④ プティックふるふる

使い捨て社会を考える目的で常設のリサイクル衣類コーナーを設置。衣料の収集整理日を固定化し、ボランティアが参加しやすいよう工夫した。

全 10 回 場所：横浜 YWCA 参加者：のべ 54 名

⑤ 東北地方太平洋沖大震災被災者支援

- 福島県の農産品を販売
- 日本 YWCA 主催「セカンドハウス・プログラム」への協力

⑥ 自助（セルフヘルプ）グループや市民グループへのスペース貸し出し支援

登録団体：12

5. 人権の尊重及び国際平和に資する各種プログラムの提供

人権の尊重、平和、また多文化共生への理解を深めることを目指し、講座の開催を行った。「英語で多文化セミナー」では、滞日・在日外国人を招いて出身国・地域についての話を聞く機会をもった。横浜市は、人口の約 2% が外国籍であり、その国籍もまた約 150 か国に及んでいることから、英語によるコミュニケーションを通じて多様な文化について知り、また滞日・在日外国人との人的つながりを形成する重要な機会となっている。

(1) 人権・平和についての理解を深める講座の開催

① 「明日に生きる」憲法を学ぶ会

全 9 回 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ 38 名

② 国連女性の地位委員会（CSW）報告会

日時：2015 年 4 月 25 日（土） 報告者：小笠原純恵さん（日本 YWCA 職員）
会場：横浜 YWCA 参加者：14 名

③ 3 市 YWCA 沖縄デー「私はこう考える～福島・沖縄と差別構造～」

日時：2015 年 6 月 6 日（土） 講師：吉田慈さん（日本基督教団林間つきみ野教会牧師）
会場：横浜 YWCA 参加者：31 名 共催：湘南・平塚 YWCA

④ 3 市 YWCA 主催「命どう宝～命こそ宝～」

日時：2015 年 11 月 7 日（土）
演奏：2 源色、ナカノユメ 講師：平良愛香さん（日本基督教団三・一教会牧師）
会場：横浜 YWCA 入場者：128 名
共催：湘南・平塚 YWCA、捜真バプテスト教会女性会
後援：那覇バプテスト教会女性会、洋光台キリスト教会女性会

⑤ ギャラリー・レーシー オープニング企画「ゆる風刺——三嶋あゆみ風刺マンガ展」

日時：2016 年 2 月 8 日（月）～20 日（土） 会場：横浜 YWCA 来場者：150 名

ワークショップ「風刺マンガのタイトルを考えよう」

日時：2016 年 2 月 13 日（土） 講師：三嶋あゆみ 参加者：17 名

ギャラリー・トーク

日時：2016 年 2 月 13 日（土） スピーカー：三嶋あゆみ 参加者：40 名

⑥ 「南京を考える旅」の参加者による報告会

日時：2016 年 3 月 26 日（土） 報告者：遠藤真理、堀添理緒

会場：横浜 YWCA 参加者：10 名

(2) 多文化への理解を深める講座の開催

① 海外ゲストを招き多文化への理解を深める「英語で多文化セミナー」の開催

- 「Being a woman in Poland」
日時：2015 年 4 月 18 (土)
講師：Mr. Zuzanna Braniak (ポーランド出身・大学院生)
会場：横浜 YWCA 参加者：19 名
- 「Bright and Dark Sides of International Marriage」
日時：2015 年 6 月 27 日 (土)
講師：Mr. Asif Yanagihara (パキスタン出身・貿易会社勤務)
会場：横浜 YWCA 参加者：14 名
- 「Lao Refugee : A Cross Cultural Perspective」
日時：2015 年 9 月 26 日 (土)
講師：Ms. Phenesavanh Daoheuang Kawate (ラオス系米国人)
会場：横浜 YWCA 参加者：19 名
- 「Japan from a Gaijin eye」
日時：2015 年 12 月 19 日 (土)
講師：Mr. Sumit Sharma (インド出身・IT 企業勤務)
会場：横浜 YWCA 参加者：16 名
- 「Education for Peace in Senegal」
日時：2016 年 3 月 12 日 (土)
講師：Mr. Diouf E. H. Massamba (セネガル出身・バオバブの会会長)
会場：横浜 YWCA 参加者：11 名

II. ファンドレイジング

1. 寄付額

- 100 周年記念募金：1,584,860 円
- 一般寄付：620,972 円

2. ファンドレイジング企画

(1)「IN PACE クリスマスコンサート～女性の自立支援のためのチャリティコンサート～」

日時：2015 年 12 月 12 日 (土)
会場：横浜 YWCA 来場者：108 名

3. 補助金・助成金

- 横浜市職場実習事業協力金：32,000 円
- 横浜市特定建築物耐震改修補助金：2,464,000 円

III. 発行

- 横浜 YWCA ニュースレター：2015 年 11 月

IV. 会館関係

1. 貸室利用回数（午前、午後、夜間を各 1 コマと計算）

- 公益目的事業等：604 件
- 収益事業：635 件
- 稼働率：38.1%

2. 事務所賃貸契約 3 室

3. 会館管理

- 消防設備点検：2015 年 8 月 27 日、2016 年 2 月 23 日
- 定期清掃：2015 年 9 月 22 日、2016 年 3 月 27 日
- 電気設備年次保安点検：2015 年 10 月 17 日
- エアコンフィルター清掃：2015 年 12 月 28 日
- 避難・防災訓練：2015 年 10 月 24 日、2016 年 3 月 11 日
- 屋上看板撤去工事：2015 年 5 月
- 2 階トイレ改修：2015 年 5 月 26 日
- 屋上防水工事：2015 年 6 月
- キッチン手洗場設置：2015 年 11 月 10 日
- 消防設備交換：2015 年 11 月 13 日
- 201 号室壁塗装・ドア交換：2015 年 11 月 24 日～27 日

V. 会員等の研修及び相互の交流事業

1. 前年度報告会

日時：2015 年 7 月 7 日（火） 会場：横浜 YWCA 参加者：12 名

2. レーシー／ヒラー墓参、ドロシー・ブリトンさんを偲ぶ会

日時：2015 年 9 月 1 日（火） 場所：横浜外国人墓地 参加者：31 名

3. クリスマスを祝う会

日時：2015 年 12 月 12 日（土） メッセージ：鈴木伶子さん
場所：横浜 YWCA 参加者：33 名

4. 会員集会

日時：2016 年 3 月 5 日（土） 会場：横浜 YWCA 参加者：28 名

VI. 評議員・役員・職員・委員会等

1. 評議員

関むつみ（評議員長）、井上玲子、菊地恵美香、白石美奈子、友廣高也、前山康廣、水越洋二、三森妃佐子

2. 理事

清水（常山）祐子（代表理事）、木村真理子、清塚典子、比企敦子、安田和美、倉戸（井上）ミ

カ（業務執行理事）

3. 監事

新倉久乃

4. 職員

倉戸（井上）ミカ、今地裕美子、平澤由比、岩松絹子、山本佳子

5. 設置委員会等

運営委員会、チームゆう、ティールームよこはまチーム、花花カフェ運営チーム

VII. 外部関係団体

AIDS 文化フォーラム in 横浜

以上

附属明細書

特記すべき事項なし

以上